# ファームコンピュータで特許取得

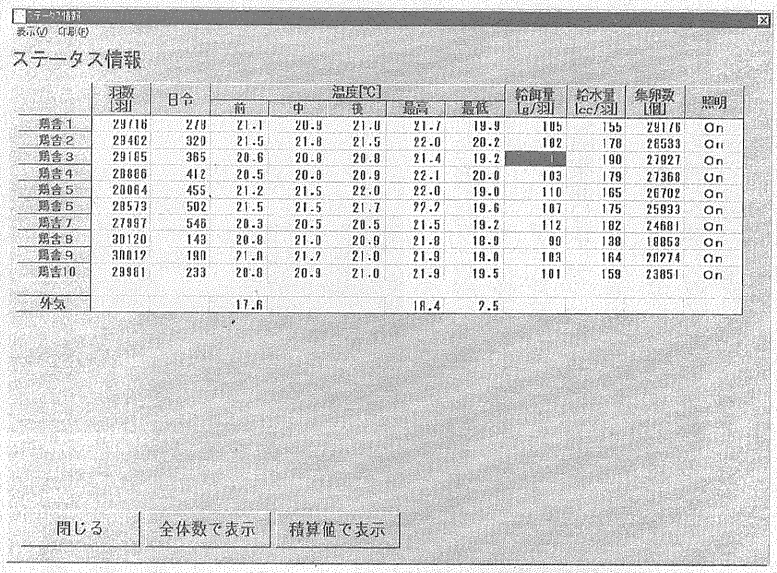
## 東洋システム　警告、警報システムで

東洋システム㈱（安田勝彦社長―本社・岐阜県各務原市金属団地九七―四）は、十九年前に米国仕様のファームコンピュータに取り組み、その後、日本の養鶏現場のニーズに合わせて改良を重ね、五年前に現在の第三世代バージョンを発売した。

第三世代バージョンでは、農場の要求に幅広く対応できるように汎用性を高めるとともに、換気など制御系のコンピュータとハードの共用化を進めることによってコストダウンを図った。同時に、より的確な管理がシンプルにできるように、画面上に警告、警報をわかりやすく表示できるシステムを開発して特許を申請、このほど特許第3762879号として承認された。

同社のファームコンピュータは、第三世代バージョンが開発されて以降、同社が納入するシステム鶏舎のほぼ九〇％に装備されるようになっている。

今回、特許を取得した「ファームマネージャー」と呼ばれる二十四時間リアルタイム情報システムに加え、同社では今後、集卵室の設定卵数に合わせて、集卵ベルトのスピードを秒単位できめ細かくコントロールしていく「エッグフローコントロール」についても、より充実させるよう、注力していきたいとしている。




| | 羽数[羽] | 日令 | 温度[℃] 前 | 中 | 後 | 最高 | 最低 | 給餌量[g/羽] | 給水量[cc/羽] | 集卵数[個] | 照明 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 鶏舎1 | 29716 | 279 | 21.1 | 20.9 | 21.0 | 21.7 | 19.9 | 105 | 155 | 29176 | On |
| 鶏舎2 | 29462 | 329 | 21.5 | 21.8 | 21.5 | 22.0 | 20.2 | 102 | 178 | 26533 | On |
| 鶏舎3 | 29185 | 365 | 20.6 | 20.8 | 20.8 | 21.4 | 19.2 | [redacted] | 190 | 27927 | On |
| 鶏舎4 | 29866 | 412 | 20.5 | 20.8 | 20.9 | 22.1 | 20.0 | 103 | 179 | 27368 | On |
| 鶏舎5 | 29064 | 455 | 21.2 | 21.5 | 22.0 | 22.0 | 19.0 | 110 | 165 | 26702 | On |
| 鶏舎6 | 28573 | 502 | 21.5 | 21.5 | 21.7 | 22.2 | 19.6 | 107 | 175 | 25933 | On |
| 鶏舎7 | 27997 | 546 | 20.3 | 20.5 | 20.5 | 21.5 | 19.2 | 112 | 182 | 24681 | On |
| 鶏舎8 | 30120 | 143 | 20.8 | 21.0 | 20.9 | 21.8 | 18.9 | 90 | 138 | 18853 | On |
| 鶏舎9 | 30012 | 190 | 21.0 | 21.2 | 21.0 | 21.9 | 19.0 | 103 | 164 | 20274 | On |
| 鶏舎10 | 29981 | 233 | 20.8 | 20.9 | 21.0 | 21.9 | 19.5 | 101 | 159 | 23851 | On |
| 外気 | | | 17.6 | | | 18.4 | 2.5 | | | | |

例えば、給餌量が１０３ｇを切るか１０８ｇを上回った場合（いずれも数字は自由に設定ができる）は、該当の鶏舎の給餌量数字のセルが黄色に変化、さらに設定数字を上回った場合は赤色に変化する。管理者は、ステータス情報と呼ばれる上記画面をチェックし、セルの色が変化している鶏舎に対し直ちにアクションを起こすことによって、より多くの羽数を最高の成績を目指し、より的確に管理することができる。

鶏鳴新聞
2006.4.15